春分の日

暦要項

今月3月21日は春分の日で休日です。では、来年の春分の日はいつなのでしょうか。

2月1日、国立天文台より暦要項（れきようこう）が発表され、官報に掲載されました。暦要項には国立天文台暦計算室が推算した翌年（2012年）の暦に関する事項、例えば東京の日出入や二十四節気、朔弦望（満月や新月などの日付）などが掲載されています。この暦要項には国民の祝日も記載されており、これにより来年の春分の日は3月20日と確定しました。

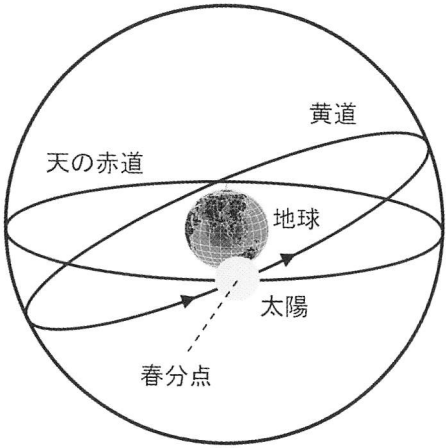
国民の祝日は昭和23年に制定された「国民の祝日に関する法律」（祝日法）によって決められていて、ほとんどの祝日が法律によって具体的な月日が定められています。しかし春分の日と秋分の日については法律では「春分日」「秋分日」とだけ定められており、それが具体的に何月何日なのかは分かりません。この日がいつになるかを国立天文台が計算し、官報に掲載されることによって、翌年の暦が正式決定されるのです。つまり祝日のうち「春分の日」「秋分の日」が何日になるか、その決定に国立天文台が重要な役割を果たしているのです。

春分点

さて「春分日」とは太陽が春分点を通過する日のことです。地球は太陽の周りを1年かけて回っています。これを地球から見ると、太陽の方が天球上を1年かけて動いていくように見えます。この太陽の通り道のことを黄道と呼んでいます。

一方、地球上の場所を示すのに経度・緯度を使うように、天球上の星の位置は、赤経・赤緯を使って示すのが便利です。地球の赤道を天球上に投影したものを、天の赤道といいます。天の赤道は赤緯0度にあたり、天球上の緯度（赤緯）の基準になります。地球の自転軸は公転面に対して23.5度傾いているので、天の赤道と黄道も互いに23.5度傾いています。

春分点とは、太陽が天の赤道を南から北に横切る点を指します。この春分点を通過する日が春分日で、春分の日という休日になります。同様に太



天の赤道・黄道と春分点

☆☆☆